

めまた 市議会だより

第67号

9月定例会

令和4年
11月1日



スポーツの秋 元気いっぱい運動会



決算
令和3年度
審査

コロナ対策？日常生活？
どう活かされた？

決算審査特別委員会

特別委員会は、令和3年度決算関連議案4件を審査することを目的として、正副委員長にそれぞれ野村洋一議員、三ツ石岩男議員を選出して、延べ6日間にわたり審査しました。

事業の進み具合はどのなのか、予算の使い途に問題はなかったかなど、延べ32人が148件の質疑を行いました。

令和3年度は、2年度に引き続き、コロナ禍で様々な事業やイベントが中止を余儀なくされました。

審査の過程では、職員研修や路線バス対策、環境対策、中心市街地土地区画整理事業、新型コロナウイルス感染症関連経済対策、給食費、ふるさとめぐり未来創造奨学金、武道場整備など、コロナ対策をはじめとした多くの事業に質疑がされました。いずれも原案可決及び認定すべきものと決しました。

新型コロナ対策

国からの新型コロナ感染症対策
地方創生臨時交付金も活用

新型コロナワクチン接種

ワクチン接種で、新型コロナウイルスの感染拡大防止



初回接種、追加接種
104,065件

3億2,613万円

電子地域通貨『tengoo』

電子地域通貨tengooに20%のプレミアムポイントを付与するなど、市内消費喚起による事業者支援、非接触型決済の普及による接触感染リスクの低減、市内経済循環の改善

8億5,088万円

生活困窮世帯特別支援金

生活困窮者自立支援法の相談事業を利用している生活保護に準ずる世帯などに対し支援金を給付

10万円×83世帯

830万円

ぬまたマルシェ オンライン

市で運営する物産品等販売オンラインサイトを立ち上げ、送料を補助

922万円

事業継続支援金

国の月次支援金、県の事業継続支援金の受給者に対して、市の独自支援金を上乗せして支給

4,935万円

周遊バスツアー誘致

新たに貸切バスツアーを行う旅行会社への助成、食べ歩きチケットの発行、入園券補助など

バス444台利用

3,381万円

愛郷ぐんま×tengoo

愛郷ぐんまを利用した宿泊者を対象に、電子地域通貨てんぐーポイントを付与

13,183人

3,907万円

子育て世帯 生活支援特別給付金

国の「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」に上乗せ

3万円×345人(195世帯)

1,035万円

A デマンドバス

Q デマンドバス導入にどのような検討がされたのか。

A 市民アンケートや市民によるワークショップを行い、朝晩の定時路線とデマンド運行を行うハイブリッド運行を行うこととしました。

運行エリア、運行時間、運賃、予約方法、乗降場所などの検討を行いました。



ふるさとめまた未来創造

奨学金

Q 事業実施によってどのような成果があったか。

A 令和3年度から給付を始めた「本市の新しい奨学金制度」であり、奨学生や保護者の学費等に係る経済的な負担を軽減できたことや、本市に貢献し、活躍するという奨学生の夢の実現に向けて応援できたことが、成果であると考えています。



武道場建設

Q 武道場が整備されたことによるどのような効果があったか。

A 沼田公園内の武道場及び沼田小学校講堂記念体育館の代替施設として、剣道・空手道格技場、柔道格技場、卓球場及びウエイトリフティング場を備えた施設として供用開始。

各競技を愛好する市民の皆さまに、引き続き利用いただける環境を整備できました。



地域おこし協力隊

Q 事業内容と成果について

A 伝統工芸品の製造技術習得、製作、普及活動を行っていた隊員の人件費、作業用消耗品の購入費及び借家借上料等です。

隊員は、令和3年8月31日をもって任期満了で退任となりましたが、伝統の桐下駄に新しいアイデアを導入した室内履きが好評で、メディアに取り上げられるなど宣伝効果も高く、成果があったと考えています。

市民協働推進事業

Q 各地区での取組状況と地域課題の解決に向けたどのような検討がされたのか。

A 人口減少、高齢化が急激に進む中、持続可能な地域づくりを推進するため、「地域づくりモデル事業」を実施しました。

高崎経済大学の櫻井常矢教授をアドバイザーに地域向け講演会を実施し、趣旨に賛同いただいた、利南、池田、薄根、川田の4地区において、地域住民が互いに地域課題を話し合う座談会を開催しました。

職員研修事業

Q ハラスメント研修と公務員倫理研修の研修内容について

A 課長級職員及び課長補佐級職員

49名を対象に、ハラスメントに関する知識の習得、職場におけるハラスメント予防意識の醸成及び倫理意識の向上のため実施しました。



決算に反対

(一部抜粋)

本市にとっては、子育て支援は重要な施策にもかかわらず、3歳未満児の保育料や副食費および学校給食費の無償化の前進はありませんでした。無償化に向けての施策の拡充を求めます。

公共施設総合管理計画の進め方も市民の意見を聞いて参考にしながら進めるのではなく、方針を決めてから市民に説明し推進するという強引なやり方であり、市民参加の市政とはとても言いえないものです。

決算に賛成

(一部抜粋)

『A デマンドバス』『電子地域通貨てんぐー』『地域づくりモデル事業』『ふるさとめまた未来創造奨学金』など、令和3年度予算は適正に執行され、効果的な事業運営がされたと認められます。

今後も、沼田市の課題解決に向けて市長と職員が一丸となって、市民目線、市民優先の、未来に責任を果たせる市政運営に取り組まれることを期待し、賛成討論とします。

9月 定例会

9月定例会は、8月30日に開会し、9月21日までの23日間、市当局からの報告、令和3年度決算認定、令和4年度補正予算、条例の改正、教育委員の任命同意など計24件と議会からの請願書1件を審議しました。また、12人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

専決処分

災害復旧予算を補正

7月15日の集中豪雨により発生した災害の復旧経費に限定し、1億4,253万4,000円を専決処分により追加補正しました。

内容は、大雨により、農地や農道など101か所で発生した法面崩落や土砂堆積等に対する災害復旧費と、市道28か所で発生した路面の洗掘、道路法面や路肩の崩落等に対する災害復旧費用です。



▲石墨町 農地法面 ▼佐山町 市道



職員の育児休業等に関する条例など6件の条例改正

「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間の拡大等を図るため、沼田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正しました。

このほか、沼田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例、沼田市税条例等の一部を改正する条例、沼田市電気事業基金条例の一部を改正する条例、沼田市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例、沼田市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例など、6件の条例改正を行いました。

令和4年度補正予算

国県支出金の確定、制度改正などにより既決の予算に増減を生じるもの及び緊急に措置しなければならぬもの、人事異動に伴う現員現給の人員費の増減などにより、5億8,577万5,000円を追加補正しました。

補正の主な内容は、保健福祉センター改修事業における備品購入費の追加、放課後児童健全育成事業における委託料の追加、サラダパークぬまた管理運営事業における解体撤去工事の追加、中心市街地土地区画整備事業における区画整理工事及び物件補償費の追加、小学校管理事業における光熱水費の追加などです。



工事が進む中心市街地土地区画整備事業(上之町)

常任委員会

民生福祉常任委員会で請願1件を審査

「後期高齢者の医療費窓口負担2割化実施の凍結に関する請願」

請願は、全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和4年10月1日から、75歳以上の人のうち一定以上の所得がある人の医療費の窓口負担が1割から2割に変わることから、この実施の凍結に向けて政府関係機関に意見書の提出を求めるものです。

9月16日、全委員出席のもと常任委員会を開催し、審査を行った結果、賛成少数で、不採択すべきものと決定しました。

審査の過程において、「医療費負担の増加による受診控えなど、高齢者の生活を脅かすことを危惧する」「高齢者の負担をこれ以上増やせない」といった意見がありました。その一方で、「人口減少の歯止めが利かない状況にある中で、安定的で、持続可能な社会保障制度を

議会の仕組みQ & A

Q 請願・陳情 って何？



A 請願とは…住民が公共団体に対して、一定の措置を取ることに、あるいは取らないように要望し申し出ることです。住民が等しく、行政機関に要望する機会を設けている民主主義の原則に基づくものの一つです。

請願が提出されると、議長はこれを受理し所管の委員会に付託します。付託を受けた委員会は、請願者の意見を聞いたり、執行機関の考え方を聞いたりして慎重に審査します。委員会では結論が出たものは、本会議に報告し、そこで採択か不採択かの最終的な結論が出されます。

A 陳情とは…利害関係者がその実情を訴えて市当局の措置を要望する行為です。議会に提出される請願は、必ず文書で、議員の紹介を経て提出することが要件とされていますが、陳情は、必ずしも議員の紹介は必要なく、また、法的な規定もありません。

私たちの願いは聞いてもらえるの？

子ども向け市議会ガイド
沼田市議会



意見や希望を
市議会に伝えます

請願



提出された請願や
陳情について議会
で話し合います



沼田市のことで、意見や希望がある人は、だれでも市議会に意見や希望を伝えることができます。この市議会に意見や希望を伝えることを「請願」（せいがん）と言います。

市議会は、請願の内容をよく調査して、市民のためになるか、沼田市の将来にとってよいことなのかなどを話し合います。

話し合いの結果、市議会で認められた請願は、沼田市のまちづくりに生かされたり、沼田市だけで実現できないことは、国や県に意見として出したりします。

市議会に請願したい時は、まずおうちの人に相談してみてください。

人事案件

- ・教育委員会委員(同意)
- 武藤 英子 氏
- ・人権擁護委員(推薦)
- 小林 壽子 氏

築き上げるためには、現役世代の負担の増加を抑えながら、全ての世代の人たちが安心できる社会保障制度を構築する必要があります。全ての世代が公平に支え合う仕組みを作り上げることは避けて通れない」といった意見や「10月1日施行に向けて国全体で準備が進んでいる中、実施を凍結することは、実質困難である」「施行にあたり、所得に応じた負担割合や3年間の激変緩和措置が設けられるなどの配慮もされている」といった意見がありました。

なお、それらの意見に加え、「配慮措置が適用される間に市独自の施策等についてもしっかりと検討する必要がある」「全市が一体となって『スマートウエルネスめま』などの施策をさらに進めることにより、健康寿命の延伸、医療費削減に向けて取り組むべきである」といった意見もありました。

一般質問

市民ニーズへの対応と効率的な市政運営

中村 浩二



【Q】沼田市障害福祉計画による雇用・就労機会の充実について伺います。

【A】障害のある方が、自立や社会参加が図られるよう、福祉力フエippoを利用した職業能力の向上に取り組み、就労移行支援事業所や就労継続支援事業所におけるサービスの向上に向け、関係団体と連携して取組を進めていきたいと考えています。

【Q】生き生き長寿のまちづくり計画による高齢者の生きがいづくり等の推進について伺います。

【A】地域の支え合いの推進や就労支援、生涯学習やスポーツの推進などを通して、生きがいを持って社会活動に参加できる取組を進めていきたいと考えています。

【Q】行政サービス向上のための効率的な行政運営と組織機構の見直しについて伺います。

【A】第2次市政改革大綱及び実施計画において、市民ニーズに的確に対応できる機能的な機構を確立するとともに、組織機構の

見直しについては、行政改革推進委員会で、増加する新たな行政課題に適正かつ迅速に対応できる組織を、市民の視点に立ち継続的に検討しています。

【Q】職員の不祥事等における分限・懲戒などの処分等が数件発生していますが、今後、職員の意識改革と地方公務員としての綱紀粛正をどのように推進していくのか伺います。

【A】これまでの、本市職員の不祥事につきましても、改めて深くお詫び申し上げます。今後は、人事施策の問題点の分析、再点検を行い、様々な手法を用いながら人材育成に努め、職員の意識改革と綱紀粛正を図っていきたくと考えています。

行政サービス向上を目指す
テラス沼田

新型コロナウイルス対策、防災対策、三峰山盛土問題

大東 宣之



【Q】新型コロナウイルスの感染状況と今後の感染対策を伺います。

【A】利根沼田管内で、8月には2,476人と大幅な増加となり、今後の感染対策については、換気の徹底、3密の回避、場面に合わせたマスクの着用、手指消毒など基本的な感染予防の徹底について、啓発と情報発信に努めていきたいと考えています。

【Q】子どもの感染防止にどのように取り組むのか伺います。

【A】家庭での感染予防をはじめ、日常生活の感染予防の徹底、年齢や場面に応じたマスクの着用など、感染対策に関する広報に努めていきたいと考えています。

【Q】飲食業、観光業等への支援はどのように行うのか伺います。

【A】10月1日からてんぐーの10%プレミアムチャージキャンペーンを実施し、今後も国や県の施策を参考に、支援策について検討していきたいと考えています。

【Q】防災の啓発活動にどのように取り組むのか伺います。

【A】市内の全行政区で自主防災組織設立に向け努め、広報めまや地域防災訓練などを通じ、防災意識の高揚に努めていきたいと考えています。

【Q】洪水浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域等への対策はどのように進めるのか伺います。

【A】「防災マップ」に洪水浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域等を表示し、避難行動に役立ててもらえるよう周知を図っていきたくと考えています。

【Q】三峰山盛土の状況とこれからどのような対応を行うのか伺います。

【A】6月17日、県から、土壌検査の結果土壌汚染の恐れがない旨の連絡を受け、業者に条例に基づき申請を速やかに行うよう指導しています。



三峰山の盛土

市政を問う!!

計画白紙 利根地区デジタル防災行政無線

青木 一郎



【Q】利根地区の防災行政無線の運用終了の現状について伺います。
 【A】白沢地区の整備を先行して行い、利根地区もデジタル防災無線の整備を計画していましたが利根独自のデジタル波を断念しました。代替手段として緊急告知FMラジオ等への移行を推進しています。

【Q】土砂災害特別警戒区域が多く指定された山間地域の利根地区全13区長からの防災行政無線継続要望書について伺います。
 【A】非常に重いものであると受け止めています。緊急告知FMラジオ等を推進し、簡単・確実な新たな伝達手段の検討も行っていく旨を回答しました。

【Q】限られた年金に物価高騰で生活が困窮されている高齢者への見回り、日常生活での困りごとに対する一歩進んだ『何でもやる課』の試し運用について伺います。
 【A】生活支援体制整備事業の推進と地域全体で高齢者の見守りな

ど体制の充実に向けて取組を進めていきたいと考えています。

【Q】コロナ禍で来客が減少した老神温泉、吹割の滝の活性化策として新技術のフルカラーLEDによるライトアップで集客アップを検討してはどうか伺います。
 【A】最新の技術により様々な演出が可能となり、以前に比べて設置、ランニングコストが抑えられることは承知しています。「また沼田にきたい」と思っていただけのように、ブラッシュアップを行うためのツールとして、ライトアップを効果的に活用できないか、地元観光関係者の意見を伺いながら調査・研究を進めていきたいと考えています。

※その他の質問…移住促進策2案



運用終了した利根町防災行政無線

運動部活動の「地域移行」への課題

高柳 勝巳



【Q】運動部活動の問題がマスコミ等でも報道が多くなって以来、関係部署では準備が必要で、取組を始めていると推察いたします。
 【A】現在、校長会や中体連と連携し、部活動の地域移行を前提としたシミュレーションを行っているところで、今後も、スポーツ庁からの通知等、国の動向等を注視しながら、必要な準備をしていきたいと考えています。

【Q】「大会のあり方」について伺います。これは議論され続けてきた「教育課程外の学校における教育活動の一環」とされながら、今後は教員以外の地域や民間団体が、これまでの活動を引き継ぐことになり、曖昧なままでは混乱や衰退を招くことは必

至と考えます。
 【A】スポーツ庁の提言でも、参加資格や全国大会をはじめとする大会の在り方、高校入試改革等、中学校等の生徒にふさわしい大会の在り方を検討していく必要性が指摘されています。
 今後については、引き続き、情報収集に努めるとともに、各種会議等において、成果発表の場としてふさわしい大会を整備していくよう、県や国に要望していく考えです。



一般質問

まちづくりと労務管理・自然環境と観光

山宮 敏夫



Q平成の大合併から現在に至る市民感情と白沢利根の今後について伺います。

A様々なご意見をいただき理解に努めています。文化や伝統を大切に、力を合わせて地域課題を解決していく市民が主体のまちづくりを目指し、地域コミュニティの維持・活性化を図っていきたく考えています。

Q市職員の勤怠管理と酒気帯び管理とアルコール検知器の使用について伺います。

A勤怠管理システムを導入して一元管理し、効率化・適正化に努めています。道路交通法改正に伴い、運転を行う前後に酒気帯びの確認を行っており、10月1日から、対面のアルコール検知器による確認も行います。

Q変更された防災計画の周知と災害時のライフラインの確保について伺います。

Aパブリックコメントを行い、様々な広報媒体で周知に努めています。災害時におけるライフ

ラインの確保は最も優先すべきものと認識しており、関係事業者とは防災協定を締結し、連携を密にして顔の見える関係づくりに努めています。

Q自然・森林資源を活かしたスポーツ観光と利根沼田広域連携、栗原川林道整備について伺います。

A大きな魅力である自然を活かしたスポーツイベント開催による観光誘客は、観光消費の増加が期待でき、総合的に研究していきたいと考えています。広域観光でもサイクルツーリズムを推進し、利根沼田観光PRを行っています。また、日本百名山の皇海山へ続く栗原川林道は、台風や大雨による被害が甚大で、復旧は非常に厳しい状況です。



庚申山より望む皇海山

過疎地域におけるデジタル田園都市への挑戦

桑原 敏彦



Qデジタル田園都市構想を支えるデジタル基盤の整備について伺います。

A10年以上前に国の補助金を活用して市内広範囲に光ファイバー網の敷設を行いました。現在、民間事業者により5G網の敷設が進められています。それらを活用し、地域DXを進めていく必要があると認識しています。

Qデジタルによる過疎地域等での仕事づくりについて伺います。

A過疎地域の仕事づくりにおいて、デジタルが有効であることは国の構想や他市町村のテレワーク、地域DX事例などで紹介されています。引き続き、デジタルを活用する検討を進めていきたいと考えています。

Q旧利根屋内プールを活用したスマート漁業、旧利根調理場でのペットフード6次化事業について伺います。

A沼田市公共施設等総合管理計画において除却する方針になっています。計画に沿った進捗を

予定しています。

Q旧利根屋内プール周辺にペトホテル等を整備し、老神温泉と連携することについて伺います。

A非常に魅力的な提案ですが、沼田市公共施設等総合管理計画の方針等を考慮し、老神温泉の宿泊事業者を含む民間事業者の意見を伺い、観光客のニーズ等を踏まえ、調査・研究を進めていきたいと考えています。



(旧) 利根屋内プール

Qデジタル田園都市構想の方針について伺います。

Aデジタル化を進めるにあたり、誰一人として置き去りにしない方針を掲げ、身の丈に合い、費用対効果のある地域DXを進めていきたいと考えています。

市政を問う!!

安全に歩ける街づくり

小野塚正樹



Q3・3・1環状線未着工区間の歩行者と車両による交通事故防止策について。今後この区間は長期にわたり危険な道路になります。子どもや、市民が犠牲になることや市民や行政が加害者になることも避けなければなりません。安全対策の必要性を訴えるとともに、市長の見解を伺います。

A運転者に対して注意を促すとともに安全対策を講じてきましたが、今後も地域や交通安全関係機関と連携を図り、交通事故防止対策を進めていきたいと考えています。



Q沼高周辺歩道の側溝は破損が著しく、市民や観光客もよく躓きケガをしている事をご存じでしょうか？そこで整備や補修計画について伺います。

A緊急性や必要性等を考慮し、予算の範囲内で補修等を行っていきたくと考えています。

Q沼高、沼女の統合に向け、防犯カメラと防犯灯の増設の検討について伺います。

A防犯カメラは関係機関と必要性を検討、防犯灯は各区長からの要望を受け、現地調査の上、必要箇所に設置を行っています。

Q来年度沼田まつりの運営スケジュールについて伺います。

A来年の沼田まつりが安心・安全かつ盛大に開催できるように早い段階から検討を進めたいと考えています。

Q豪雨等による城堀川の越水や氾濫防止対策について伺います。

A河床の土砂を取り除く等、適切な河川管理に努めていきたくと考えています。

子育て支援と人権のまちづくり

高山 敏也



Qひとり親家庭(シングルマザー)の生活・子育て、養育費の履行確保支援について伺います。

Aひとり親家庭の貧困率は高く、生まれ育った環境によって子どもの将来が閉ざされることのないよう支援を行っていきたくと考えています。養育費履行は、令和2年度の本市で、26・3%が受領してはいますが、低い履行率とを考えます。養育費の確保については、「子ども家庭総合支援拠点」が相談を受けており、公正証書作成費用等の支援については、調査、研究を行っていきたくと考えています。



Q当市の貸与型奨学金の保証人制度等の改善、利用者がウターンした場合の返済優遇制度について伺います。

A保証制度は、規則に基づいて

運用していくことが、大切であると考えます。返還支援は、令和2年、修学支援新制度が施行され、授業料等を免除、減額する制度創設や給付型奨学金が拡充されるなど、負担が軽減されつつあり、本市も返還支援施策を考慮しつつ、若者の生活実態の把握に努めています。

Q性的マイノリティの方への支援と、当市パートナーシップ宣誓制度について伺います。

A市民意識調査では「セクシャルマイノリティ」に対し、「言葉も内容も知っていない」が47・6%、「言葉だけは聞いたこと」があるが30・9%、「全く知らない」が19・9%でした。市民の理解が進んでいないので意識啓発に注力していきたいと考えています。市パートナーシップ制度は、県が導入している制度を活用した行政サービスの提供を検討しており、市営住宅の入居申込や同居申請等の行政サービスを提供しています。

一般質問

沼田市の人口減少問題への取組は

井上 弘



【Q】沼田市の若者の転出抑制策、また転入増加策にもなる奨学金返還支援施策の研究状況はどうなっているか伺います。

【A】昨年6月の内閣官房の調査で、全国の3割程度の自治体で独自の奨学金返還支援策を行っており、群馬県も令和2年度から奨学金返還支援制度（企業連携型）が導入されています。

本市でも、奨学金返還支援施策を考慮しつつ、若者の就労状況や所得等の生活実態の把握に努めています。

【Q】人口減少に歯止めをかけるには、若年層の転出抑制だけでなく、子どもを産みやすい、育てやすいまちにしていかなければなりません。

【A】予防接種の接種忘れやスケジュール管理などに活用できるほか、様々な活用ができる子育て支援ツールである電子母子手帳の検討状況はどうなっているか伺います。

【A】現状の紙媒体での手帳を希望

する意見もあるため、国の動向を注視し、他の自治体の情報収集にも努め、母子保健サービス向上のため、今後の対応を検討していきたいと考えています。

【Q】妊娠期の読み聞かせ、マタニティファーストブックの検討状況はどうなっているか伺います。

【A】マタニティセミナーで、妊娠期からできるコミュニケーション手段として、読み聞かせの重要性などを説明するとともに、読み聞かせにも活用できるように、本年度からファミリー・ファーストブック事業として、「最初の絵本」を配付する事業を開始し、子育て支援の取組を推進しています。



マタニティセミナーで手渡される絵本で妊娠期の読み聞かせを

人口減少時代の沼田の「未来予想図」を描く

金子 浩隆



【Q】企業誘致・工場立地推進について、6月議会でも伺った、横塚工場適地の県新規産業団地造成候補地選定はどうなったでしょうか。

【A】横塚工場適地は昨年5月に候補地選定調査票を群馬県に提出、今年3月29日に第一次選定され、最終選定待ちの状況でしたが、8月30日付で、群馬県新規産業団地造成候補地に選定されました。

【Q】選定になったということで大変喜ばしいことだと思います。今後のスケジュールについて、詳しくお教えてください。

【A】今後、事業化に必要な全地権者からの同意を取得した後、群馬県へ要望書を提出し、事業化に向けた協議を県と行い、最終的には知事の同意を得て県企業局の新規産業団地造成事業が開始されます。

【Q】沼田公園長期整備構想のもと、堀や本丸御門、三重櫓などの復元に向けた短期、中期的な計

画を立て、ウイズコロナの観光振興、観光誘客に結び付けたいと私は考えています。

来年の秋には10階建てのホテルが沼田城大手門脇に建ち、高層階の窓からは沼田公園がよく見渡せるのではないのでしょうか。今こそ、短期、中期の整備計画を策定して、教育部が調査をした結果をもとに、企画政策課、観光交流課を先頭に全庁的に事業を展開すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

【A】短期、中期の整備計画の策定についても、現在の発掘調査の結果により、今後の方向性を検討していきたいと考えています。



沼田城天守跡発掘調査

市政を問う!!

元気な子どもの声がたくさん聞こえる沼田市を

井之川 博幸



Q少子化対策と子育て支援充実で人口減少に歯止めをかける施策のうち不妊治療費助成事業拡充について伺います。

A引き続き不妊治療を行っている方の経済的負担の軽減を図っていきたく考えています。

Q保育料と副食費の無償化の推進について伺います。

A調査・研究を行っていきたく考えています。

Q学校給食費の無償化について伺います。

A検討を進めていきたく考えています。

Q就学援助事業の一層の充実について教育長に伺います。

A卒業アルバム代を対象にするとともに、小学1年生の新入学用品費の扶助単価を引き上げるなど、充実に努めています。

Q帯状疱疹ワクチン接種への助成の実施について伺います。

A他自治体の状況等を参考に研究していきたく考えています。

Q沼田ウエイストパーク一般廃

棄物最終処分場との地域住民の生活環境保全を目的とした市及び地域住民との協定等締結について伺います。

A県から協議者に対し、市との生活環境の保全に関する協定の締結を行うよう指示がされると承知しています。

Q(仮称)ホテルルートイン沼田に対する、地域住民等の生活環境保全を目的とした市の対策部署及び住民からの相談窓口の設置について伺います。

A財政課が窓口となり、対応していきたく考えています。

Q同じく、市・地域住民と事業者との生活環境保全を目的とした協定等締結について伺います。

A新たな協定書等の締結については、考えていません。



廃止になる東保育園



建設が進むルートイン

人口減少が進む中での財政運営と今後の取組

星野 佐善太



Q財政健全化に向けた取組について伺います。

A財政指標は改善の傾向も見られ、健全化判断比率はいずれも基準内で推移していますが依然として厳しい状況です。持続可能で適切な財政運営に努めていきたいと考えています。

Q公共施設の維持管理と整備・見直しについて伺います。

A沼田市公共施設等総合管理計画に基づき、予防保全型の維持管理への転換を進めています。

経費縮減、更新投資の平準化、利用者ニーズへの適切な対応に努めていきたく考えています。

Q行政組織の見直しと職員の配置について伺います。

A社会の変化に柔軟に対応できる組織体制を担保することが大切と考えます。今後も住民サービスの向上につながるよう職員を配置していきたく考えています。

Q小中学校区の見直しの現状と問題点を教育長に伺います。

A事情により通学が困難な場合には指定校を変更することにより適切に対応しています。

Q中学校部活動の人材確保の検討について教育長に伺います。

A部活動の地域移行は、多くの協力が必要と考えます。関係団体との協議、地域との連携を進めいきたいと考えています。

Q観光行政の取組と問題点について伺います。

A誘客に向けて愛郷ぐんまXてんぐー事業等を行いました。事業の検証や既存観光素材の磨き上げ等を行い、さらなる取組を進めていきたく考えています。

Q沼田高校と沼田女子高校の統合について伺います。

A教育基盤の整備・充実に重要な課題と考えます。地元の立場から支援に努めていきたく考えています。



合併する沼田女子高校

行政調査

報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。今回は、広報広聴委員会の概要を掲載します。

広報広聴委員会

沼田市議会では、現在、広報広聴委員会において、市民等との議会報告会・意見交換会の実施について検討しています。

より効果的な議会報告会・意見交換会とするため、7月19日、先進地である桐生市議会の視察を行いました。

桐生市議会報告会の概要

・ 定例会ごと、年4回開催



桐生市議会での視察の様子

・ 主に各地区公民館で開催
・ 全議員22名参加

・ 意見への回答は基本的には所管の常任委員会委員長が行い、総体的事項については議長が行う。

・ 司会は議会改革調査特別委員会正副委員長

・ 受付係、記録係及び会場係については議員が交代で担当

・ 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年から動画配信で報告

質疑応答(抜粋)

Q 委員会としての立場なのか、議員個人としての立場なのか

A 委員会としての意思形成であり、委員会を代表した委員長として答える。

Q 国・県の業務など所管外の事項、解決の見通しが立たない事項について

A 議長が説明して理解してもらうようにしている。



桐生市議会議長に質問

Q 議会モニター構成は

A 令和4年度に関しては、現在9名。年齢は15歳から79歳までと幅広い。公募3名と推薦6名で構成。

Q 議会報告会の中で子どもたちに向けたものは

A 子どもたち向けというのはいったことはない。高校生はまちづくり討論会の中で意見交換を行っている。

次回定例会の日程

次回定例会は、12月6日(火)からの予定です。

インターネット中継も行っています。



編集後記

秋が深まりを増してきました。今年の夏は特に暑かったので秋をしみじみ感じますね。中山間地の沼田市では正に実りの秋を迎え、林檎や葡萄、多くの方が好む新蕎麦に、なんといっても品質の高いお米、その他多くの美味しい食べ物、また何よりも増して、温泉に素晴らしい大自然、夕焼けに染まる子持山、澄み切った空気に映える谷川連峰や武尊山、全て沼田ならではの宝物です。さて、令和4年9月、第4回沼田市議会定例会が開催され、令和4年度沼田市一般会計補正予算、令和3年度決算審査、その他重要な審議が行われました。一般質問では、多くの議員が星野市長に対して様々な切り口から発言をし、星野市長からも前向きなご答弁をいただきました。

私たち議会だより編集委員会では、今後も親しみやすく分かりやすい議会だよりを目指し、活動してまいります。

副委員長 山宮 敏夫

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 山宮 敏夫

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 戸部 博
三ツ石岩男 大東 宣之